

～ Tokyo Tech Research Festival プログラム ～

2017年10月25日(水) 13:30～16:30(交流会17:00～18:30)

東工大蔵前会館くらまえホール(交流会:ロイヤルブルーホール)

※<ショットガンプレゼンテーションについて>

発表者1人につき2分間の研究概要紹介スピーチです。

プレゼンテーションの順番は、当日変更になる可能性もございます。予めご承知おきください。

13:00	受付開始/会場OPEN			ポスターセッション開始	
13:30					
13:50	開会挨拶 東京工業大学学長 三島 良直				
14:00	ショットガンプレゼンテーション開始				
	ショットガンプレゼン 第1部(約40分)				
	化学	物理化学	岩橋 崇		非線形振動分光で見た電解液/電極界面のイオン吸着・脱離挙動
		有機化学	重田 雅之		医薬分子の革新的合成を志向した電子不足性アルキンの利用法の開発
		無機化学	神戸 徹也		典型金属集積 dendrimer の構築と機能化
		生体関連化学	安部 聡		細胞内タンパク質結晶を利用した機能創成
		生体関連化学	正木 慶昭		核酸創薬に関連する研究
	環境学	環境動態解析	吉田 尚弘	同位体分子による地球環境の診断	
		放射線・化学物質影響科学	島田 幹男	放射線生物学におけるDNA修復研究とその応用	
	工学	化工物性・移動操作・単位操作	下山 裕介	超臨界二酸化炭素を利用した微粒子懸濁液の製造	
		核融合学	近藤 正聡	革新的な液体金属技術が拓く無限の可能性	
		原子力学	西山 潤	CANDLE 燃焼型原子炉を用いた宇宙探査用電源システム	
		維持管理工学	千々和 伸浩	X線回折法によるコンクリート構造物中の鉄筋残留応力推定法	
		水工学	稲垣 厚至	熱画像を用いた「風」の分布計測	
14:40		電子・電気材料工学	岩崎 孝之	ダイヤモンド量子センサ	
	<休憩>				
14:45	ショットガンプレゼン 第2部(約25分)				
	工学	構造・機能材料	竹山 雅夫	ジェットエンジン用耐熱材料研究(JET プロジェクト)の概要と拠点形成のためのフィージビリティアクション	
	情報学	数理情報学	山下 真	高速最適化理論の遺伝子種別構成への新展開	
		人文社会情報学	西田 亮介	公共政策の社会学 ～情報化とメディア、社会的価値、制度設計を中心に～	
		知覚情報処理	中村 友哉	計算機光学:物理的光学情報符号化と高度復号情報処理の融合による新しい光学システム設計論	
	生物学	進化生物学	二階堂 雅人	魚の唇の肥大化に関わるDNAレベルでのメカニズム	
	総合生物	腫瘍生物学	口丸 高弘	ホタルの生物発光が明らかにするがんの悪性化機構	
15:05	農学	食品科学	白木 伸明	ヒトの発生・分化・発達・成熟に影響を与える外部栄養環境変化をiPS細胞を用いて把握する	
	<休憩>				
15:10	ショットガンプレゼン 第3部(約35分)				
	工学	知能機械学・機械システム	服部 佑哉	細胞群の放射線応答メカニズムの工学的解析	
		材料加工・組織制御工学	青野 祐子	機能性をデザインする新しい3D+1成膜技術への挑戦	
		無機材料・物性	大場 史康	先進計算科学による新材料探索	
		無機材料・物性	平松 秀典	鉄を主成分とする層状化合物の超伝導	
		無機材料・物性	井手 啓介	アモルファス酸化半導体の応用	
		無機材料・物性	安井 伸太郎	強誘電体付加による超高速充放電リチウムイオン電池の正極材料	
		触媒・資源化学プロセス	前田 和彦	エネルギー変換型光触媒	
		触媒・資源化学プロセス	北野 政明	アンモニア合成のための省エネ触媒技術	
		触媒・資源化学プロセス	鎌田 慶吾	金属酸化物を用いた高機能触媒の開発	
		触媒・資源化学プロセス	本倉 健	固体表面への触媒活性点集積による高効率分子変換反応	
		触媒・資源化学プロセス	和田 雄二 藤井 知	マイクロ波による高付加価値金属の製錬技術	
15:45	ショットガンプレゼンテーション終了				
				ポスターセッション終了	
16:20	閉会挨拶 副学長(産学官連携担当) 屋井 鉄雄				
17:00	会場CLOSE				
17:00～18:30	懇親会(ロイヤルブルーホール) ※会費制(3,000円程度) ご参加申し込まれた方へ別途ご案内します。				